

以下の記載は、表題の診療ガイドラインから漢方製剤に関する記述を抽出したものです。診療において漢方製剤を使用される場合には、必ず、ガイドライン全体をお読みになり、その位置づけを正しく理解された上で行ってください。

ガイドラインのバージョンは最新のもののみを掲載しています。改定がなされていないガイドラインは、そのまま掲載しています。このガイドラインと其中的漢方の記載を、診療の参考にすべきかどうかの判断は、使用者の責任で行ってください。

ANCA 関連血管炎診療ガイドライン 2023

厚生労働科学研究費補助金難治性疾患政策研究事業

難治性血管炎の医療水準・患者 QOL 向上に資する研究班 針谷正祥

難治性腎障害に関する調査研究班 成由一衛

びまん性肺疾患に関する調査研究班 須田隆文

株式会社診断と治療社 2023 年 5 月 15 日初版第 1 刷発行

Minds 掲載 有

■1 柴苓湯

疾患:

ANCA 関連血管炎性中耳炎(OMAAV)

有効性に関する記載ないしその要約:

『Ⅶ治療 5.OMAAV に対する治療』の『3 補助療法』に以下の記載がある。

『漢方製剤である柴苓湯は内因性コルチゾールを誘導する作用があり、PSL の投与量をできるだけ減じる意味で寛解維持治療の補助として用いることもある』